

豪華客船インテリア画展

第二次世界大戦前、客船は旅客輸送の主役で、「動くホテル」といわれました。船会社は集客のため競って豪華な客船を建造し、快適な航海を提供するために、心地よい居住空間を用意しました。船内インテリアは室内装饰公司や建築家、工芸家などの協力によって、船客の嗜好や時代の流行を取り入れて、最高水準のものがつくられました。1等食堂や1等社交室、1等喫煙室などのインテリア・デザインをつくる際には、何枚もの室内完成予想画（インテリア画）が描かれ、検討されました。

今回の展示では、1930（昭和5）年前後に横浜船渠（現在：三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所）で建造された北米航路客船秩父丸と氷川丸、日枝丸の室内完成予想画を展示し、当時の船内インテリア・デザインのすばらしさを紹介します。あわせて現在の日本のクルーズ客船のインテリアも展示します。



秩父丸1等食堂 秩父丸（17,498総トン）は日本郵船のサンフランシスコ航路客船。1等食堂のインテリアはアール・デコ様式。正面には装飾鏡が吹き抜ける天井まで配置されている。設計はフランスの代表的な船内インテリアの設計・施工家マルク・シモン。ほぼこの設計通り完成した。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



氷川丸1等食堂 マルク・シモンが設計したアール・デコのインテリア。この計画通り施工された。現在は改装されているが、柱や照明器具などに往時の姿を見ることが出来る。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



秩父丸1等喫煙室 イギリスの老舗の室内装饰公司ウォロン・アンド・ギロー社が設計、製作した。イギリス・ウイリアム・メリー様式といわれる。1928（昭和3）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



秩父丸2等ベランダ ベランダはデッキの後方にあり、ゆったりと海を眺められる。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



氷川丸1等食堂 設計は東京・高島屋。採用されなかった計画案。氷川丸の船内設計には国内のインテリア・デザイン会社もコンペに参加した。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



氷川丸1等社交室 氷川丸（11,622総トン）は1930（昭和5）年に建造されたシアトル航路客船。主要な公室はアール・デコ様式で構成されたが、なかでもこの社交室はアール・デコの意匠であふれている。マルク・シモンが設計。ほぼ建造時の姿で残されている。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



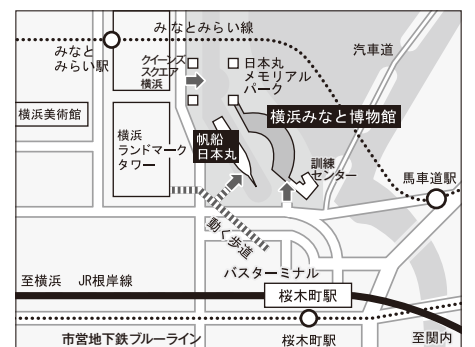
新田丸1等カフェ及びダンシングスペース（ベランダ） 設計は建築家中村順平。中村は国立横浜高等工業学校建築学科の主任教授をつとめる一方で、あるぜんちな丸など30隻近い客船のインテリアを設計し、現代日本様式というスタイルを創造した。新田丸は欧州航路用に建造された客船。1940（昭和15）年 当館蔵



日枝丸読書室 イギリスのヒートン・タブ社が設計した原案。日枝丸は氷川丸の姉妹船。1928～29（昭和3～4）年 三菱重工業（株）原動機事業本部横浜製作所蔵



飛鳥Ⅱカードルームのデザインボード 使用されるカーテンや椅子の生地、床材などが貼りつけられている。クリスタル・ハーモニーから飛鳥Ⅱへの改装の際のもの。2004～05（平成16～17）年 日本郵船歴史博物館蔵



交通：JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車、またはみなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅下車 いずれも徒歩5分

記念講演会 客船のインテリア — 建築と工芸の粋を示す「浮かぶ宮殿」

日時：3月22日（月・祝）14:00～16:00

講師：吉田鋼市氏（横浜国立大学大学院教授）

会場：日本丸訓練センター

◎定員：100人（申込多数の場合は抽選）◎参加費：500円 ◎申込方法：往復はがきに住所、氏名、電話番号を明記して、〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1 横浜みなと博物館「講演会係」まで申し込んでください。◎申込締切：3月14日（日）

次の展覧会

公開25周年・進水80周年記念展覧会

帆船日本丸と世界の港展（仮称）

4月24日（土）～6月13日（日）

帆船日本丸の横浜での25年間の活動と、航海訓練で訪れた寄港地での交流を紹介します。

帆船日本丸総帆展帆 4月11日（日）、4月29日（木・祝）

横浜みなと博物館
Yokohama Port Museum

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1

TEL 045-221-0280（代表）/ FAX 045-221-0277

帆船日本丸記念財団・JTB共同事業体

HP <http://www.nippon-maru.or.jp/>